

## 学年目標『人との関わり合いを大切にする人になろう』

＜文部科学省＞  
キャリア教育

学校教育に求められている姿  
「生きる力」の育成  
～確かな学力、豊かな人間性、健康・体力～

### 本校の目標

- ・ 職業についての理解を深め、将来（キャリア）への展望をもち、学習意欲に満ちた子供
- ・ 自己の特性を正確に把握し、希望に適した進路を選択する理由をよく理解し、進んで自らの進路を計画しようとする子供
- ・ 職業についての正しい知識を身に付け社会に出て自立できる子供

自分の気持ちや行動に 一番近いところに○をつけよう	いつも	時々	あまり	ほとんど
① 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
③ 自分から役割や仕事を見つけ、分担するなど、周りの人と力を合わせて行動しようとしたか。				
④ 自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしたか。				
⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしたか。				
⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしたか。				
⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。				
⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。				
⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。				
⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。				
⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。				
⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。				

中学2年生 中学校生活の半分、振り返り地点です。お子さんと共に振り返ってください。

## 道徳の授業から

教材名 そこにいるだけでいい 内容項目 (生命の尊さ)

ねらい 生まれること、生きていることの意味について考え、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。

「生」の反対は、何だと思いますか？

「生」の反対は「死」に決まっているじゃないか。

そう考える人が多いと思います。

私が尊敬する、ある先生はこう教えてくれました。

「僕は、『生』の反対は『死』じゃないと思う。『生まれないこと』だと思う。

生まれたものにしか『生』も『死』も存在しない。」

＜中 略＞

あなたが一人、人として生まれてくるために、どんなに多くの困難を乗り越えなければならぬことか。生まれてきて、この瞬間に、ここにいることの「すごさ」を知ってほしい。

文 内田美智子 『お母さんは命がけであなたを産みました』より



### 生徒の振り返り

(敬称略)

- ・改めて命を大切にしようと思った。親に感謝しながら生きていきたい。(磯村 駿)
- ・生まれてこなかったのは残念なことで心が一杯になるけれど、生んだ場合にも、しっかりと育てることが大切だと思った。(宇佐美 遼)
- ・少ししか生きられない人もいることを知って命を大切にしたいと思いました。(永井 香好)
- ・私達が生まれたのは奇跡で、生まれるはずだった命でも生まれることのできない人もいた。命は尊い。生命は遠い昔からずーっと受け継がれている。(橋本しいな)
- ・本当にありがたい、自分がこの名前でも生まれてこれたのは、一分一秒全部の分岐点が僕につながったと思う。本当にすごいと思う。(月岡 涼)
- ・命はいろんな人が頑張ってるので、大切にすべきだと思いました。生んだ人は、その努力を無駄にするようなことしちゃだめだと思う。(佐野ゆなは)
- ・お母さんに感謝したい。おばあちゃんにも感謝したい(佐野 空良)
- ・人は価値があり、望まれて生まれてきているので尊い命を大切にしなければならないなと思いました。(若尾 椎奈)
- ・生まれてくるまでとても大変だと思った。命は簡単に生まれないか大切にしていっての方がいいと思いました。命の大切が分かりました。自分の命を大切にしていきたいです！(諸星 聖奈)
- ・自分が母親になったらいつかこういう体験をするかもしれないのでそういうときはすごく悲しいと思います。なのでこのお母さんはすごい心の広い人だなと思いました！私もお母さんになったらこんなふうに心の広い人でありたいと思いました。(赤池 稔音)
- ・人が生まれてくるのは大変なことだから命を無駄にすることは良くない。(渡邊さつき)
- ・命は大切にしないとイケない。生きていることは当たり前じゃない。(渡邊あかね)